

関西地域カワウ広域保護管理計画（案）概要

計画の基本情報

■保護管理の目標

- ・地域毎の被害量を顕著に減少させる。
- ・人間活動と共にカワウが生態系の一員として生息できる生態系を取り戻す。（長期目標）

■計画期間 平成25年4月から平成28年3月まで（3年間）

■対象区域 関西広域連合圏内（ただし、鳥取県を除く。）

■関西広域連合と各府県・市町村の役割分担

- 関西広域連合：生息・被害・対策状況の調査の実施、情報の収集・とりまとめ・周知、先進事業の試行的実施、広域保護管理計画の策定・運用・評価
- 府県・市町村：連合による取組みへの協力、地域における対策の継続

■計画の位置づけ

広域的に移動するカワウの保護管理のため、関西地域としての方向性を示すものとし、今後3年間の取組み結果を踏まえて、計画の評価・見直しをおこなう。

施策の内容

■基本的な方針

- ・広域的な調査及び情報の収集・とりまとめを実施し、得られた知見を元に各地域における対策の方向性を示すことにより、地域毎の取組みの推進を図る。
- ・施策の実施にあたっては関係者間で情報共有するとともに、合意形成を図る。
- ・モニタリング調査により対策の効果を検証し、計画の評価・見直しへ反映させる。

■実施する内容

①モニタリング調査

➢ カワウ生息動向調査

ねぐら・コロニーにおける個体数・繁殖状況・移動状況の調査を実施する。

➢ 被害状況及び被害対策状況の把握

水産業者へのアンケート等により被害実態を具体的に把握し、被害の数値化や被害対策効果の評価等に活用する。

②カワウ対策

➢ 防除事例研究

水産業者等の生の声を反映した対策の成功・失敗の事例集を作成し、当事者間の情報共有に活用する。

➢ カワウ対策検証事業

カワウ対策のモデルとなる地域を選定し、ねぐら・コロニーと被害地の関係性を考慮した総合的・試験的な対策効果検証事業を実施する。

カワウ対策検証事業

◆これまでの課題

- ・個々の漁場で個別に対策
- ・防除のみで、根本的な解決につながらない

飛来元(ねぐら・コロニー)における
対策を組み合わせることで実施

◆対策の内容

①数を減らす

- ①ねぐら等における個体数管理
- ・銃器を用いた捕獲
- ・偽卵・ドライアイスによる繁殖抑制

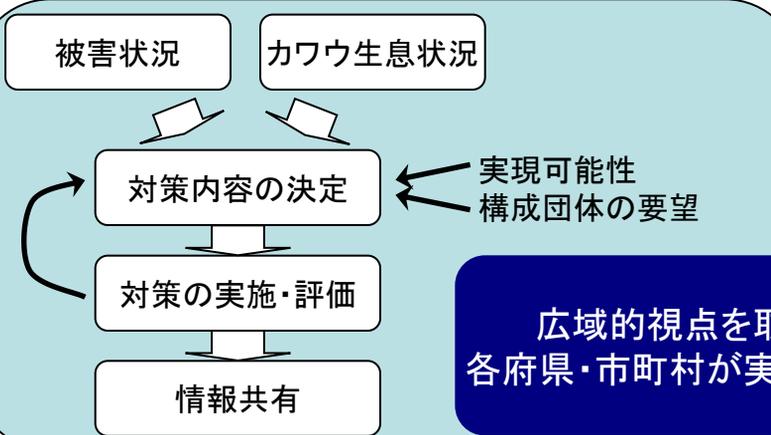


②遠ざける

- ②ねぐら等の分布管理
- ・被害地に近いねぐらの除去・集約
- ・ねぐらの成立を防止する範囲の見回り

③来た時に備える

- ③被害地における防除の指導・支援
(積極的な自衛を推進)
- ・効果的な対策の指導
- ・対策用備品の購入配布
- ・放流方法等の提案



写真提供: 山本麻希著「カワウに立ち向かう」
滋賀県

広域的視点を取り入れた対策の効果を検証し
各府県・市町村が実施する対策の効果的な推進を図る

広域環境保全局 (鳥獣保護管理の取組)

カワウは...

- ・水産被害・植生被害等の影響を及ぼす
- ・府県の境界を越えて広域を移動

広域的課題

- 効果的な対策を実施するための基礎的データの蓄積
- 広域的な視点に立った保護管理計画の立案と、各府県の対策の調整
- 各府県の実施対策の取りまとめ、評価、現場へのフィードバック

関西広域連合の広域的立場を活かした取組を！

これまでの取組

生息動向調査

- (1) ねぐら・コロニー調査
個体数調査(年3回)
繁殖状況調査
- (2) バンディング調査
足環装着
発見情報収集

防除事例研究

- ・防除方法のとりまとめ
- ・被害地の現地視察・意見交換

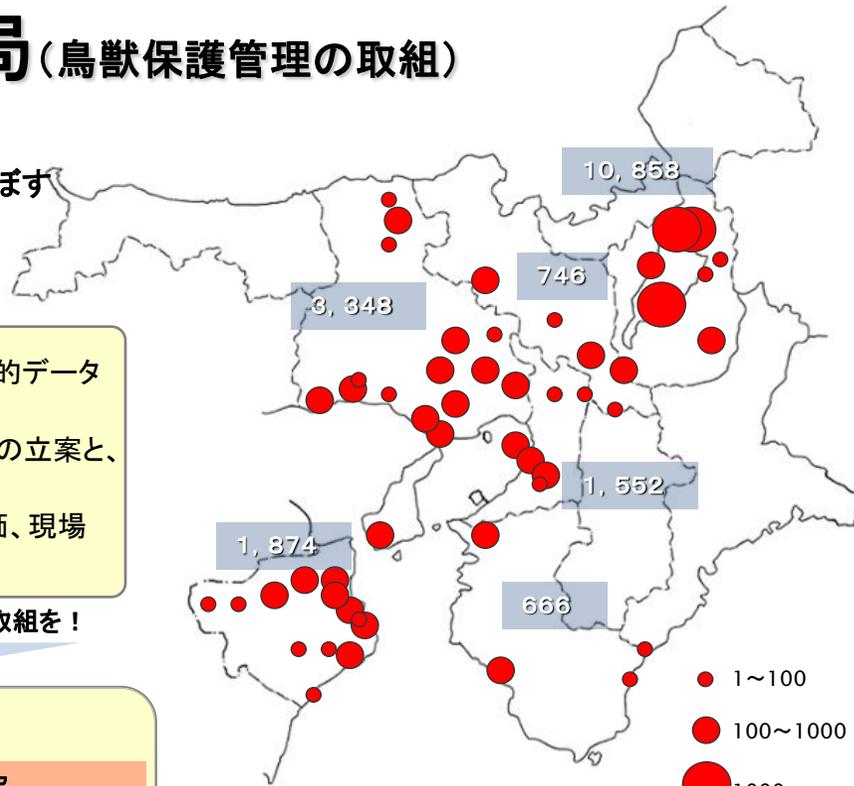
専門家意見

分析・評価

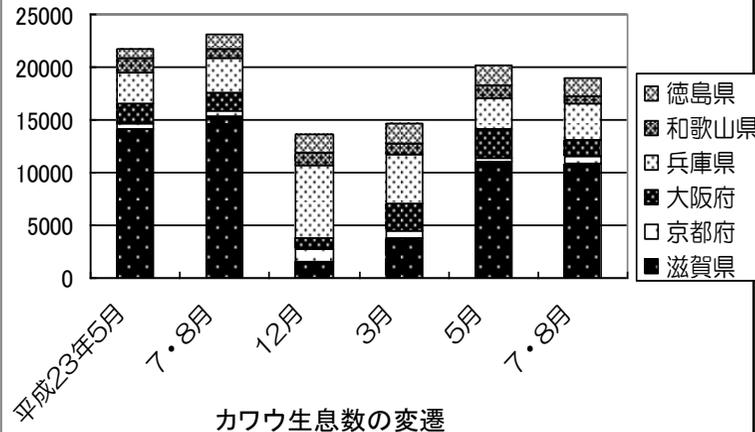
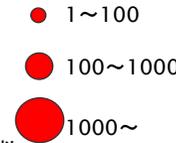
既存の知見

構成員意見

広域保護管理計画策定(予定)



2012年夏季(7・8月)のカワウ生息数



カワウ生息数の変遷



写真提供:
(株)イーグレット・オフィス



竹生島で標識されたカワウの観察情報

関西広域連合で取り組む施策 (検討中)

○基本的な方針

関西広域連合は...

- ・広域的な調査および情報収集・とりまとめ
- ・先進的な取組の試行的実施

をおこなう。

※「順応的管理」・合意形成の徹底

○取組みの手順

(1) 現状把握 → (2) 対策の推進 → (3) 評価・見直し

○施策の内容

▼モニタリング調査の実施

カワウの生息数や被害状況等の変遷を把握し、対策効果の評価に活用する。

- ・カワウ生息動向調査
- ・被害・被害対策状況のとりまとめ
→被害を数値指標化することも検討

▼カワウ対策の推進

各地域における対策の方向性を示し、地域毎の取組みの推進を図る。

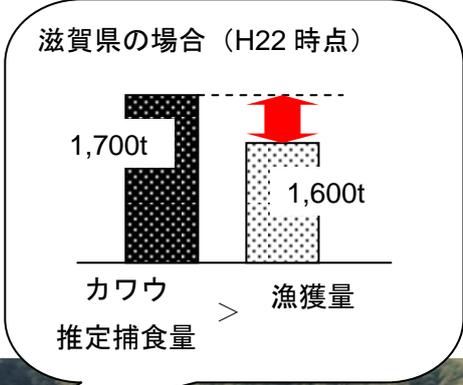
- ・対策の成功/失敗の具体的な事例集の作成
- ・カワウ対策検証事業の実施

カワウについて



ペリカン目ウ科

体長：80～85cm
体重：1.5～2.5kg



◆食性

- ・潜水して魚類を捕食する。
(ウグイ、アユ等)
- ・捕食量が多い。
(推定 300～500g/日)

⇒漁業被害

- ・放流魚（特にアユ）の捕食
- ・遊漁料収入の減少
- ・漁具の破損



漁場で大群で飛来するカワウ

◆生態

- ・集団で行動し、特に夜間の休息場所（ねぐら）や繁殖のための営巣場所（コロニー）では多数の個体が集まる。
- ・ねぐらやコロニーは、水辺に接する場所の樹木や人工構造物に作られることが多い。
(河川・湖沼・海岸、ダム湖、溜池、ゴルフ場、公園等)

⇒植生被害・生活環境被害

[植生被害]

- ・糞付着による樹木の衰弱
- ・営巣のための枝折り

[生活環境被害]

- ・糞による悪臭
- ・羽の飛散
- ・鳴き声騒音



ねぐらから飛び立つカワウと枯死木